

活動事例	オンリーワン 研究会	<h1>清酒品評会の上位入賞を目指して ～清酒品質向上研究会の発足～</h1>
支援先	県内清酒製造企業	

【背景】

当センターでは、「市販酒の品質向上」「各種品評会における上位入賞」「酒造技術者の意欲と技術の向上」等に関心のある企業を対象に、令和7年度より市販酒のさらなる品質向上を目指した清酒品質向上研究会を新たに立ち上げました。

この研究会は、銘醸蔵杜氏による技術講演会、各種品評会における上位入賞酒の利き酒及び参加者同士による技術情報交換などにより市販酒品質の向上を図り、各種品評会やコンテスト等への積極的な出品と上位入賞を狙うことを目的としています。

【内容】

県内の酒造会社18社、44名が参加して開催しました。今年度は、主として毎年英国で開催される世界最大規模の日本酒コンペティション「IWC SAKE 部門」における上位入賞酒の品質をベンチマークとした勉強会を以下のプログラム（表1）で実施しました。

表1 研究会のプログラム

令和7年度 清酒品質向上研究会プログラム	
第1回	全国新酒鑑評会 模擬決審利き酒勉強会
第2回	常陸杜氏ならびに銘醸蔵杜氏による講演会（図1） （常陸杜氏：来福酒造(株) 加納良祐氏 (株)武勇 深谷篤志氏） （井上清吉商店：代表 井上裕史氏）
第3回	市販酒研究会（図2） （IWC トロフィー酒 29点を含めた全81点の市販酒で実施）
第4回	海外日本酒コンペティション評価員との情報交換会（図3） （SMALL FOREST(豪州)：オーナー ラドクリフ・小林敦子氏）



図1 井上氏による講演



図2 市販酒研究会の風景



図3 豪州とWeb利用による勉強会

【活動の成果】

多くの県内企業に関心を持っていただき、有意義な勉強会を開催することが出来ました。毎年5月にマスコミ等でもニュースとして取り上げられる全国新酒鑑評会は、市販酒とは異なる特別な吟醸酒のコンペティションですが、現在、国内外で開催される民間主催の日本酒のコンペティションは、殆どが市販酒を対象として実施されています。今後、県内酒造メーカーの知名度やブランド力を更に向上するために、コンペティションへの挑戦や上位入賞を目指し、本活動を続けてまいります。

マスコミ等による報道：7/24（茨城新聞掲載）

担当	技術支援部 フード・ケミカルグループ	浅野 俊之、吉浦 貴紀、 飛田 啓輔、岩佐 悟	TEL:029-293-7497
-----------	-----------------------	----------------------------	------------------